



今の特集 第一歩は、「場に慣れる」こと

《作業療法士・森上》

はじめまして。作業療法士の森上です。
あん School では「場に慣れる」ことを大切にしています。
リハビリテーションの中で、新しい環境に慣れるための3つのポイントがあります。それは、次の通りです。

①場に慣れる ②活動に慣れる ③人に慣れる

そして、私たち支援者がこれらを理解して実践することが重要になると考えています。
例えば、新生活がはじまる4月。子どもたちは、学校のクラス替え、新しい担任の先生、新しい科目の授業がはじまる時期です。この時期は、①②③が同時に起こり、慣れていない状況で、様々な活動をする必要があるため、「ストレス」がかけやすくなります。子供たちの中には、帰るころにはクタクタになってしまう子もいます。このような環境下で、「学校に行きたくなくなる」「体調を崩してしまう」など、心身ともに変調をきたすことも少なくありません。

上記のことから、あん School では、まずは「場に慣れること」を大切にしています。初めて通所したお子さんには、「あん School に来ることを目標にしよう」と伝えます。それは、あん School が安心できる場所だと感じることで、お子さんが活動に取り組みやすくなるためです。興味関心のある活動を一人ひとりのペースにあわせて提供することで、お子さんにとって安心できる場が形成されていくものです。その上で、次のステップに進むようにしています。次回は、「活動に慣れること」について、お伝えしたいと思います。



通い始めて2ヶ月での嬉しい変化

《児童指導員・杉本》



はじめまして。あん School 児童指導員の杉本喜美（よしみ）です。
あん School に通い始めて2ヶ月余りの鈴木愛華さん（仮称）のお話をいたします。愛華さんは今年の春から中学1年生です。
あん School に初めて来てくれたのは春休み中の3月でした。
初回通所日はお母さんと一緒に来てくれました。大人しい印象の愛華さんは私たち職員の質問や声かけにもちゃんと答えてくれました。職員と一緒にカードゲームやドンジラをして過ごした時間で見せる笑顔。それが印象的でした。
愛華さんは小学校に通うことができずにいました。どうやったら学校の勉強を進めることができるでしょうか。
スモールステップで、じっくり噛み砕いて勉強を見てあげる必要があります。わからない箇所は、何度でも繰り返して学べる仕組みが求められます。

あん School には、パソコンを活用して、自分のペースでじっくりと進めることができる個別の勉強ツールがあります。このツールを活用しながら、私たち指導員も適度に関わりながら、勉強を進めていくようになります。愛華さんは通所した時には、自ら取り組むようになり、持ち前の集中力を発揮して取り組むようになっていきます。



毎回、同じ席で、反復しながら勉強に取り組むことにより、あん School に少しずつ慣れてきました。現在は休むことなく通所できるようになっています。

ゴールデンウィークには、クッキングのイベントを開催しました。

愛華さんは、クッキングが大好きです。愛華さんが中心となり、数名の児童と一緒に作ったホットケーキ。これは格別で、スタッフにも大好評でした。皆が自分の役割をもって、完成にたどり着いたこと。これは、私としては、何よりも嬉しかったことです。クッキングの翌日、お母さんから嬉しい便りが届きました。ご家族にホットケーキを作ったそうです。
あん School を利用して2ヶ月余り。新学期となり学校にも通うことができています。これからも、少しずつ自分の得意なこと、好きなことを中心にできることからやっていけるとよいと思います。私たちは、成長を見守りながら、個々のお子さんの可能性を信じて関わり続けていきたいと思っています。



放課後等デイサービス

〒391-0013 長野県茅野市宮川3987-3

サービス提供時間 平日 14:30(学校下校時)~17:30/学休日 10:00~16:00

休業日 土曜日(祭日は対応いたします!) お問い合わせ・ご相談はこちら TEL 0266-78-6675

お問い合わせ・無料体験お申し込みはLINEから!

